

(様式1)

## 施設指定管理者モニタリングチェックシート

令和4年 1月～ 3月

施設名	豊明市老人福祉センター
指定管理者名	社会福祉法人 豊明市社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
所管課	豊明市長寿課

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考	
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】					
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A	風呂利用をコロナウイルス感染拡大により、引き続き人数制限等継続する。	A	状況に応じて適宜遵守している。	
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A	行なっている。	A	同上。	
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A	整っている。	A	常時2名が在駐。	
	適切な有資格者を常に配置しているか	A	配置している。	A	ボイラー技士、看護師など。	
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A	行なっている。	A	管理日誌を確認。	
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A	されている。	A	災害時のマニュアルは今後検討。	
	【利用者に関する業務】					
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A	新型コロナ感染拡大防止の為に各部屋人数制限をしつつ、徐々に利用数が増えてきた。	A	コロナ禍にあるも著しい利用者低下にはつながっていない。	
	利用料金の設定、徴収、還付等手続は適切か	A	適切に行なっている。	A	値上げは事実上難しく、現状が適切であると判断する。	
	【保守点検並びに清掃業務等】					
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A	行なっている。	A	行なわれている。	
	定期的に清掃、除草、剪定等は行われているか	A	行なっている。	A	背の高い樹木剪定は要検討。	
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A	行なっている。	B	男性めまい転倒報告なし。	
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A	故障箇所はその都度利用者にわかるよう注意喚起した。	A	行なわれている。	
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等が行われているか	A	行なっている。	A	行なわれている。	
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A	修繕記録を確認。	
	備品は適切に管理しているか	A	備品台帳を確認し整理している。	A	備品台帳を確認。	
	消耗品等は適切に補充しているか	A	補充している。	A	補充されている。	
	【事業の実施に関する業務】					
	指定事業は適切に実施されたか	A		A	趣味講座等の実施による。	
	自主事業は適切に実施されたか	B	新春お楽しみ会中止など十分に出来なかった。	B	左記評価による。	
	【個人情報の取り扱い】					
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A	行なっている。	A	施錠しての管理がされている。	
	【①に係る指定管理者の自己評価】 新型コロナ感染拡大防止対策をして出来る限りの事業を行ない、来館者に楽しんでいただけた。					
	【①に係る施設所管課の評価】 コロナ禍にあって状況を鑑みながら可能な限りの施設運営がされている。ただ施設内で発生した事故や不具合については、速やかに市へ報告いただきたい。				区分評価	<b>B</b>

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考
② サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】				
	窓口対応は適切に行われているか	A	行なっている。	A	行なわれている。
	アンケートを実施するなど、利用者の意見を聞いているか	A	年1回必ず行っており、利用者の要望や意見について反映している。	A	作品展後の年1回の実施に変更意向あり。
	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	対応している。	A	可能な範囲で対応している。
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A	報告している。	B	男性めまい転倒報告なし。
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A	行なっている。	A	行なわれている。
	貸出備品等は良好に保たれているか	A	保っている。	A	行なわれている。
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	B	コロナ禍の中なので十分とは言えない。	B	左記評価による。
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】				
	困りごと相談窓口を開設し利用者の生活相談に応じている	A	月1回相談窓口を開設。	A	第2木曜に久野氏対応。但しこの日に限らず日々対応している。
	健康啓発にて来館者の熱中症予防や感染症予防ができていますか	A	感染症注意喚起の掲示。	A	可能な範囲で出来ていると判断。
	福祉団体等の関係機関と連携協力し、利用者と地域社会が協働できる事業を実施しているか	A	子ども会関係等の協力を得てイベントを実施(1月予定)。	B	左記予定が中止となる。
	HPIによる広報・PR活動により利用者の増加	A	本会HP内に老人福祉センター情報を掲載。	A	出来ている。
	【②に係る指定管理者の自己評価】 前事業所の職員を継続雇用でき、平常どおり利用者への対応ができています。 自主事業として、コロナ禍の中なので全て出来ている訳ではないが、来年度は対応できる事業については実施していきたい。 物販1~3月上売件数(コピー白黒333件、コピーカラー6件、タオル0件、名札ケース5件)				
【②に係る施設所管課の評価】 施設内の修繕が多かった第4四半期であったが、どれも迅速な改善が成されたため施設的なサービス低下には至っていない。ただ事故については迅速な報告が求められる。まん延防止等重点措置発令の中、可能な範囲で運営がされている。				区分評価	<b>B</b>
③ サービス提供の安定性の確認	事業収支は黒字になっているか	B	赤字にはなっていないが、事業収入の増加に努めていきたい。	B	黒字にはなっていないが、指定管理委託料の中でやりくりしている
	必要な帳簿は備えられているか	A	適切に行なっている。	A	売上日報を確認。
	経理処理は適正に行なわれているか	A	適切に行なっている。	A	行なわれている。
	収入増加のための取組がなされているか	A	前事業所からの物販を継続。カラーコピーを導入。	A	カラーコピー導入の効果が若干あるものの、取り立てて収入増加には結びつかないのが現状。
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A	適切に行なっている。	A	上記の一方で経費縮減も中々目立った取組をする余地がない。
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A	安定している。	A	安定している。
	【③に係る指定管理者の自己評価】 事業運営に関して、健全で安定した運営を行うことができています。				
	【③に係る施設所管課の評価】 収入増加や経費縮減の取組みは実際難しいものの、必要な帳簿を管理し経理処理や団体経営は健全に行なわれている。今後もコロナ禍の中、利用者により可能な限り安定したサービスが提供出来るよう適切な運営をお願いしたい。				区分評価

【項目評価】

- S (優良) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。
- A (良好) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。
- B (課題あり) : 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C (要改善) : 協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

- S (優良) : 項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A (良好) : 項目評価が全てA以上。
- B (課題あり) : 項目評価にBがある。
- C (要改善) : 項目評価にCがある。